

## 九州大学経営協議会議事録

日 時：平成26年10月23日(木) 13:00～14:35

場 所：九州大学 椎木講堂大会議室

出席者：27名中21名出席

### 【紹介】

10月からの役員等について紹介があった。

### 【審議事項等】

#### 1 役員の退職手当に係る業績評価について

平成26年9月30日に退任した役員の退職手当に係る業績評価について説明があり、審議の結果、これを議決した。

#### 2 主幹教授の選定について

主幹教授制度の概要及び新たに3名の主幹教授を決定したことについて報告があった。

#### 3 平成26年度計画の変更について

「グリーンアジア国際戦略総合特区」について総合特区推進国立大学法人運営費交付金が措置されたことに伴い、平成26年度計画の一部を変更することについて説明があり、審議の結果、これを議決した。

#### 4 給与及び退職手当の支給基準の改定について

人事院勧告(平成26年8月7日)、「公務員の給与改定に関する取扱いについて(平成26年10月7日)」及び「国家公務員退職手当法の一部を改正する法律案」を踏まえた本学における給与及び退職手当の支給基準(案)について説明があり、審議の結果、これを議決した。

#### 5 教員に対する年俸制等の導入について

教員に対する年俸制の導入について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見等があった。

- ・資料5の3ページ目の業績評価に関する評価基準について、(1)も(2)も研究面の業績の基準であるが、その人自身は賞などは取らないが、教育熱心で素晴らしい人材を育てるなど教育面で目立つ方は(3)でしか評価されないのは少し気になる。

教育面も重要であり、我々もその点について議論はしているところである。教育面等の評価については現時点では役員会で審議することとしているが、今後更に検討していきたい。

- ・年俸制は成果給的なイメージがあるが、業績給については、頑張った場合はプラスになると思うが、評価が悪い人についてはマイナスになるのか。

資料の5ページの図で見た場合、インセンティブ加算分はゼロとなり、期末・勤勉手当相当額や昇級相当額の減額はあり得る。

- ・年俸制を適用する対象はシニア教員の他は希望する教員等となっているが、全体的に年俸制に移行するというような方針にはならないのか。

やはり承継職員の全体に一斉に年俸制を適用するのは難しいが、新規採用の場合なども希望者に適用する等して増やしていく予定。これまでのような給与体系だけでなく、頑張った人が給与面で報われるようインセンティブを高めて、弾力的な魅力ある制度としていきたい。現在、年俸制では最大 2500 万の年俸を支給することができるようにしている。

## 6 教員に対するクロス・アポイントメント制度の導入について

教員に対するクロス・アポイントメント制度の導入について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見等があった。

- ・夏はこちらの大学で勤務、冬は先方の機関で、というようなことも可能なのか。

相手機関との協議により決定することとなるが、そういったことも可能なように制度の運用を検討していきたい。

- ・九大の教員が他機関に行くのを想定していると思うが、他機関の人を九大に呼ぶことも考えているのか。

考えている。双方向でやろうとしており、他機関の優秀な方に来ていただけるようにしたい。

- ・以前からもやっていたと思うが、これまでは部局ポイントのしぼりが厳しくて難しいところがあったのではないか。この制度はポイント制度があるからやるということか。

以前からも出向契約等でこのようなことは実施していたが、ポイント制度の面で整備されていなかった。今後はポイントの面も整理して対応することで、さらに活性化させることができるのではないかと考えている。

## 7 スーパーグローバル大学創成支援推進体制について

スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の採択状況及び本学における推進体制について報告があった。

なお、以下のような意見等があった。

- ・採択校 13 大学のテーマは関連しているのか、それぞれで別なのか。今後 13 大学の連携等はあるのか。

文科省からは目的が明確に示されているが、それぞれの大学が 10 年後の目指す姿を定め、80 ページの構想調書を作成し計画を進めている。項目は共通しているが、それぞれの大学で目指すところは異なり、九大では 41 にわたる達成目標を掲げている。連携については、タイプ別に幹事校を置き、採択校連絡会が開催されることとなっており、そこで今後議論していく。

## 8 財務レポート 2014 について

「財務レポート 2014」を作成したことについて報告があった。

### 【懇談】

会議後、総長から「九州大学総長就任にあたって」と題して、九州大学総長として取り組んでいくこと等について説明があった後、懇談を行い、以下のような意見等があった。

- ・社会貢献について、九州大学は九州経済連合会の一員として様々な面で活動していただいてきた。総長選考の際にまとめられた総長に求められる資質等の中でも、取り組むべき課題に「九州経済界の一員として」ということが入っているが、資料9ページではそれがはっきり見えないが、総長のお考えとしてはどうか。

社会のニーズに応じていくためにも、積極的に九州経済界との連携に取り組んでいきたいと考えている。

【その他】

1 次回の開催について

次回は平成27年1月22日(木)に開催予定である旨の案内があった。

( 以 上 )